



報道発表資料
平成 28 年 11 月 22 日
国立国会図書館
東北大学災害科学国際研究所

平成 28 年度東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム －震災から 6 年経過した震災アーカイブの進化と深化－ 開催のお知らせ

国立国会図書館と東北大学災害科学国際研究所は、平成 29 年 1 月 20 日（金）に「東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム」を東北大学にて開催いたします。

東日本大震災の発生直後から、様々な団体が震災アーカイブに取り組み、現在までに数十の震災アーカイブが構築されました。震災から間もなく 6 年が経過しようとしている今もなお、アーカイブの数が増え続けています。この 6 年の間に、多くの震災記録が集約できただけでなく、震災アーカイブの構築にともなう知見も集積されてきました。そうした知見を広く共有するため、最新の事例とともに震災アーカイブがどのように変化してきたかを議論します。

発災直後から東日本大震災を対象としたアーカイブを構築したハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所からアンドルー・ゴードン教授を特別講演者に招き、日本災害アーカイブ（旧「2011 年東日本大震災デジタルアーカイブ」）を紹介するとともに、参加型デジタルアーカイブの可能性について論じます。

また、様々な立場からの報告後、特別講演者・報告者全員によるパネルディスカッションを行い、震災から 6 年が経過した震災アーカイブの進化と深化について議論します。

ご多忙中と存じますが、本イベントについて広く周知いただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。取材にあたっての事前申し込みはご不要です。

○日時及び会場

日時：平成 29 年 1 月 20 日（金） 13:00～16:30（開場 12:30～）

会場：東北大学災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール
（宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1）

○参加及び参加申込み

- (1)定員：200 名（先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。）
- (2)参加費：無料
- (3)申込み：下記 URL のシンポジウム案内にある申込みフォームからお申込みください。
<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>（みちのく震録伝）

問合せ先：

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野 小野，柴山
電話番号：022(752) 2099 E-mail アドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

○プログラム

●特別講演（13:10-14:10）

「参加型デジタルアーカイブの可能性」



アンドルー・ゴードン
（ハーバード大学歴史学教授、
エドウィン・O・ライシャワー日本研究所
JDArchive プロジェクトディレクター）

※講演は、日本語で行います。

●報告（14:20-15:25）

「震災遺産を保全する」

高橋満（福島県立博物館主任学芸員）

「福島原子力事故関連情報アーカイブ(FNAA)について」

米澤稔（日本原子力研究開発機構研究連携成果展開部科学技術情報課長）

「ウェブサイトを保存する－国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）」

前田直俊（国立国会図書館関西館電子図書館課課長補佐）

「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）」

伊東敦子（国立国会図書館電子情報部主任司書）

「近年の震災アーカイブの問題点と解決方法について」

柴山明寛（東北大学災害科学国際研究所准教授）

「熊本地震におけるデジタルアーカイブ構築への課題と利活用の検討」

山尾敏孝（熊本大学大学院先端科学研究部教授）

●パネルディスカッション

「震災から6年経過した震災アーカイブの進化と深化」

上記特別講演者及び報告者